

「これからの図書館」講演会

水島図書館が新しく複合施設になり生まれ変わります。
この機会にステキな図書館について学び考えましょう。

講師

たにいち あやこ
谷一文子さん

日時

令和6年 **10月19日**【土】

時間 10:00～11:30 (受付 9:30～)

場所 水島愛あいサロン (1Fコミュニティフロア)



講師：図書館流通センター（TRC）代表取締役社長 谷一文子さん

「いい図書館」ができれば、必ず、いろいろな層の人々がやってきます。

三世代で、親子で、一人で、仲間と。特に、注目しているのは小さな子どもたちや小中学生が、「いい図書館」を自然と使ってくれるようになることです。そうすれば将来も、図書館や本に親しみ、情報を集め、仕事や生活を豊かにすることができるでしょう。

子どもたちが成長したときに、「図書館って使えるね、便利だよ」と当たり前のように思ってくれればよいのです。そのときのために図書館はいろいろな資料・本を揃えて、あなたを待っています。

— 著書「これからの図書館」より

たにいちあやこ
谷一文子さん
プロフィール

1958年12月岡山県生まれ。上智大学文学部心理学科卒業後、1981年より財団法人倉敷中央病院精神科にて臨床心理士として勤務。その後1985年より岡山市立中央図書館にて司書として働く。1991年に株式会社図書館流通センターに入社、データ部目録、特注班を経て営業デスクに所属。2004年に図書館サポート事業部長に就任。高山市立図書館、桑名市立中央図書館など、全国の図書館で業務委託やPFIの立ち上げに携わる。2004年6月にTRCサポートアンドサービスの代表取締役に就任。2006年6月に株式会社図書館流通センター代表取締役社長を経て、2013年4月より株式会社図書館流通センター代表取締役会長。2019年7月より株式会社図書館流通センター 取締役。



水島エリアに図書館・児童館・公民館の3つが一緒になる複合施設が出来ることになりました。全国の図書館を基点とした複合施設では教育はもちろん、子育て世代にとっても有益な場所として利用されています。

ちょうど複合施設建設に対して住民へパブリックコメントを募集する時期でもあり今後半世紀は建て替えはない施設ですので、この時期しか出来ないこととして全国のすばらしい複合施設を紹介してもらい、図書館複合施設について考える機会を設けました。取り組みや使い方を知ったうえで、水島の図書館複合施設に何を望むか？のアンケートをとり、市に届けるところまでを行い、結果的にアンケートは市長・副市長まで届けられました。

今回は今日日本で一番図書館複合施設に詳しいであろう図書館流通センター社長の「谷一文子さん」にご登壇いただきました。

感想としては、行きたいな！と思う図書館がたくさんで、旅行に行ったときは図書館もチェックしなくては！と思いました。特に石川県の図書館は旅行の目的が「図書館」に行きたいから・・・となりました。

特に印象に残ってるのは、瑞穂町図書館の「ルールよりマナー」「◎だけ表示」居心地の良い空間を目指すために人に直接注意をせずに『誰もが利用しやすい場所であるために、わたしにできることはなんだろう』というメッセージをそっと本棚に置いてるところなどです。優しさに溢れてい感じがしてとても良かったです。海南市の子どもしか入れない天井が低い図書館も自分が子どもの時を想像してワクワクしました。

海外の図書館はクリエイティブなことが出来る場所として利用されている様に感じられて、従来の図書館の本を読むというインプットだけではなく、アウトプットも積極的に出来るところが今の図書館の形なんだと感心しました。

そのほか「遊びの中から生まれてくる」という話は大変共感しました。

若い人が地域コミュニティ参加するきっかけとして、また小さい子がいる家庭にはとくに役に立つものになる可能性を秘めていることを実感しました。

